

「中国食品ビジネス先進事例視察 in 上海」 レポート

<視察者概要>

区 分	内 容
業 種	農家 ・ 製造業 ・ 商社 ・ 支援機関
品 目	中華総菜、主として餃子 、 外食
輸 出 経 験	中国以外への経験あり ・ 中国への経験あり (コロナ前のみ ・ 現在も継続中)

香港

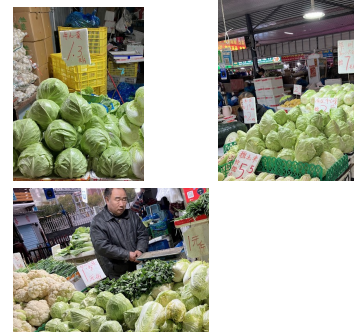
<視察全体を通じた感想等>

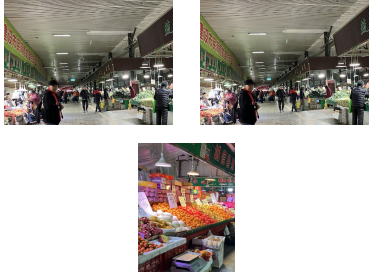
中国の経済成長のすさまじさを感じた。インフラとデジタル化、電動自動車の普及速度などを目の当たりにする。外食では宅配ビジネスの成長はコロナ以降日本も伸びてきているが上海では街中を走り回っている姿をいたるところで、ショッピングセンター内、百貨店内などへもヘルメット姿の宅配業者が飛び回っている。日本では想像がつかない。ホテルではロボットがエレベーターを使い客室まで運んでいる状況は初めて見る光景。物価についてはスーパーマーケット、ショッピングセンターなど日本の1.2~1.3倍くらい高そうな感じがした。半面外食についてはFFをはじめフードコートなどの価格は安価なイメージがある。レストランなどは日本より高め。インフレの中、景気後退すると外食産業は値下げに走る光景もあった。為替の影響もあるが日本の物価は世界に比べ安く感じる。

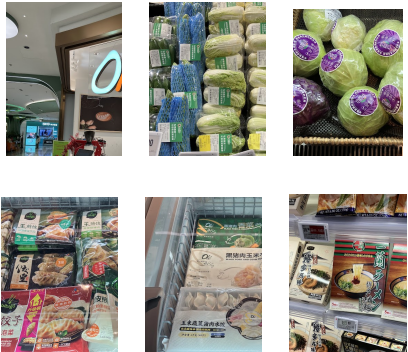

上海を視察する中、私自身の中では今までの中国に対するイメージは完全に払拭されています、中国全体では未知ですが新たに中国市場の魅力を勉強でき、今輸出はビジネスチャンスです。可能性を求めいきたいと思いました。


<個別視察先報告>


区 分	内 容
視 察 先 名 称	食品市場
感想・認識変化	一般の方も出入りできる上海の市場規模は日本にはなく庶民にとって喜ばしい価格でもあり生鮮野菜価格を知ることができた。
写真・コメント	キャベツ・白菜・白ネギなど野菜全般に安い中国産野菜が日本へ輸入されている価格イメージがついた。



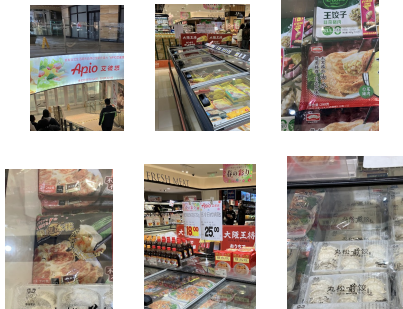
	市場内の様子	
--	--------	---

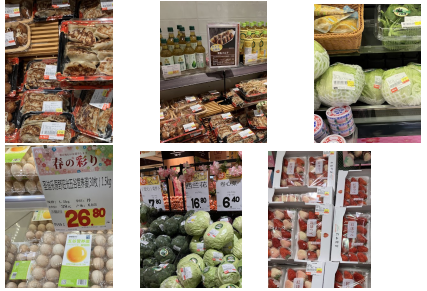
区 分	内 容	
視 察 先 名 称	現地系商業施設（環球港、Ole）	
感想・認識変化	SSM での生鮮野菜の価格は日本より高い。冷凍食品コーナーも餃子は主に水餃子。価格相場 1.2～1.5 倍。外食コーナーで焼き餃子、焼き小籠包を発見、試食する。	
写真・コメント	野菜の陳列、冷凍食品、日本のラーメン	
	テナント内の FF、焼き餃子、焼き小籠包	


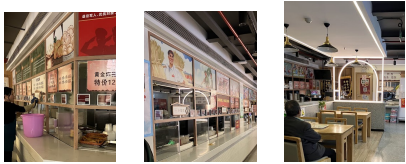
区 分	内 容	
視 察 先 名 称	ローカルドイツ系スーパー ALDI	
感想・認識変化	SSM と比較し、食品全般プライスゾーンは安い。	
写真・コメント	白菜の陳列、価格	

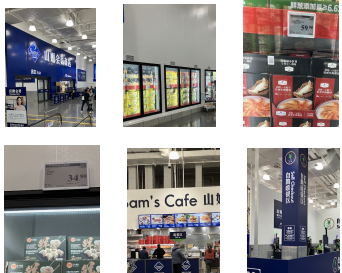
	冷凍食品コーナーと現地冷凍餃子	
--	-----------------	---

区分	内容	
視察先名称	日系百貨店 高島屋	
感想・認識変化	日系だけに商品群、外食など日系が多い。	
写真・コメント	テナント、生鮮野菜 冷食コーナー、冷凍餃子（日系餃子）	
	乾麺（日系商品）、弁当、海鮮丼、 鰻寿司、ウナギ丼	

区分	内容	
視察先名称	APIO（旧アピタ）	
感想・認識変化	陳列方法、総菜の種類等日本のスーパーアピタらしく懐かしい	
写真・コメント	APIO 入口地下売り場、冷凍食品コーナー 日系冷凍焼き餃子の陳列は日本と同じ	

	<p>総菜コーナーに焼き餃子発見 卵売り場、野菜売り場、静岡元種紅ほっぺ</p>	
--	--	---

区分	内容	
視察先名称	千霞社区長者食堂	
感想・認識変化	中国の高齢者社会に対する政府の支援がうらやましい。 日本では子ども食堂があるが、いずれにせよ政策の相違か。	
写真・コメント	食堂外観、価格看板	
	店内、手前より欲しいものを取り奥へ 4人掛けテーブルが左右に20卓ほどあり	

区分	内容	
視察先名称	米系スーパー(Sam's)/ 中国系ショッピングモール (竜之夢)	
感想・認識変化	Sam 'sはまるでコストコ、差別化に宅配サービスあり 日系イチゴはどこの食品売り場にも陳列、高価で販売されている。	
写真・コメント	Sam 's入口、リーチイン冷凍ショーケース 冷凍餃子のフェイス、フードコート、自動レジ	

竜之夢、女性のロボットは手の動きなど精工
食品売り場、
イチゴ、冷凍食品コーナー、焼餃子

